

シェアサイクル在り方検討
委員会向け説明資料





About “Open Street”

【会社概要】



会社名	OpenStreet株式会社
所在地	東京都港区東新橋1-9-2
代表者	横井 晃
設立	2016年11月
事業内容	モビリティシェアのシステム提供
株主	<ul style="list-style-type: none">• 経営陣• ソフトバンク株式会社• Zコーポレーション株式会社 (Zホールディングス／旧ヤフーの100%子会社)• JXTGホールディングス株式会社• 双日株式会社



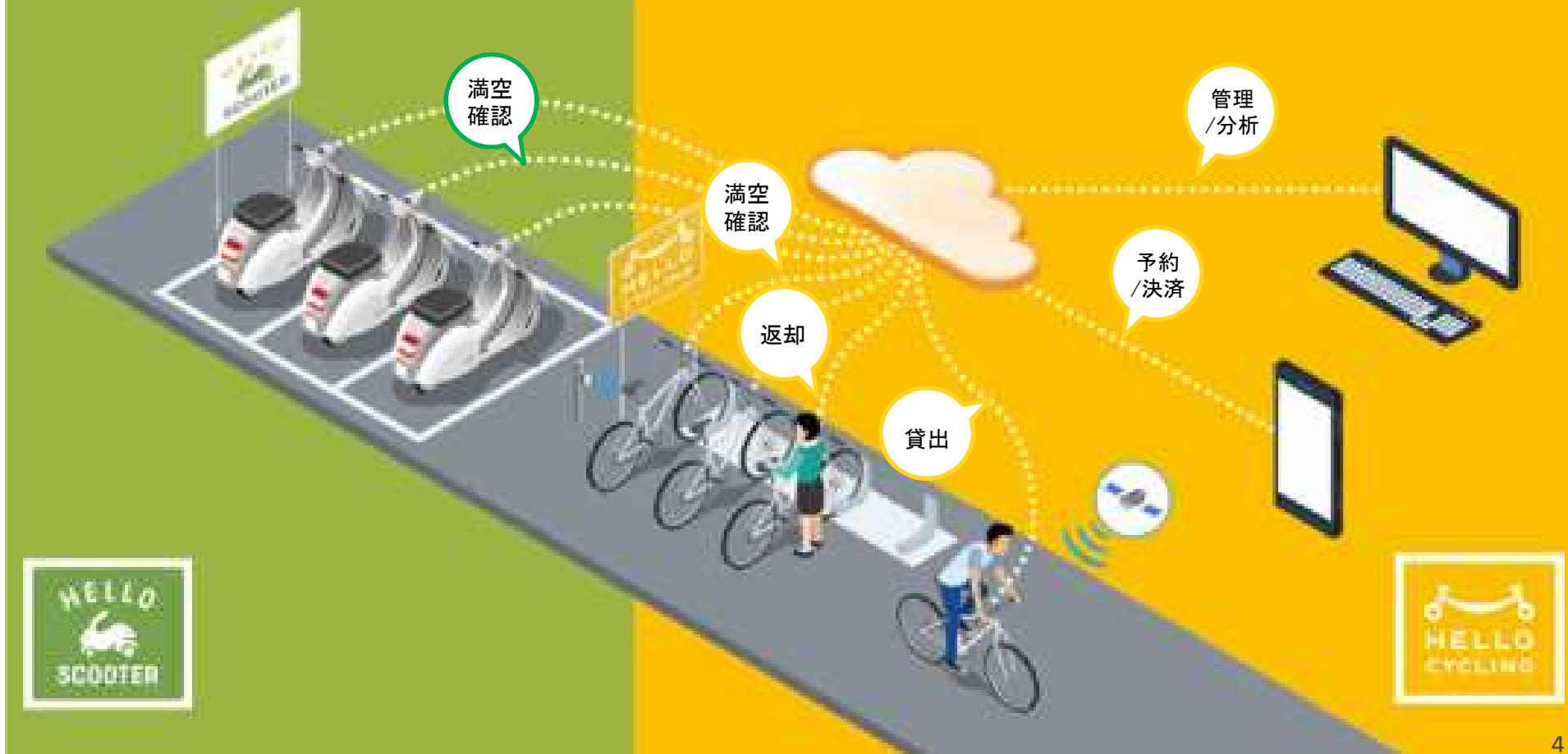
ソフトバンクグループにおいて、モビリティシェア事業を担う会社です

SBグループのMaaS群

マイクロモビリティ(二輪/三輪)MaaSとして展開

<p>MONET</p> <hr/> <p>自動運転時代の中心になる プラットフォームへ</p> 	<p>SB Drive</p> <hr/> <p>スマートモビリティの 運行管理サービス</p> 
<p>DiDi</p> <hr/> <p>AI配車プラットフォーム</p> 	<p>HELLO CYCLING</p> <hr/> <p>二輪MaaSプラットフォーム シェアサイクリング</p> 

世界初 マイクロモビリティオープンプラットフォーム



Hello Cycling

サービス開始から4年弱でステーション数は約2,600箇所 (Sta.数は国内No.1)

地方自治体やコンビニ各社と協定を締結し、
エリア特性に合わせてローカライズ展開。
老若男女問わず、通勤・通学や観光地での移
動手段(マイクロモビリティ)として利用されて
います。



埼玉/川越市(小江戸エリア)

Hello Scooter

HONDAの技術協力を受けて 2019年にシェアスクーターをスタート

東京(日比谷・渋谷・目黒・五反田)、埼玉、千葉にて、短～中距離の移動手段として順次展開中。大手飲食企業とアライアンスを実施し、デリバリーとの相性／効果を検証中。

また、コロナ禍での支援策として、自治体と緊急対応をも実施。



東京千代田区 (新橋エリア)



About “Hello Cycling”

世界初のシェアサイクル専用 オープンプラットフォーム

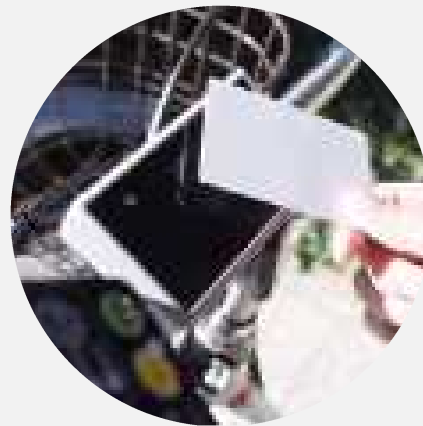


Hello Cyclingのインフラ ユーザーに愛されるインフラ

接点作り



多様な決済



地域連携



自治体／民間 スピード展開



200市区町村

ネットワーク事業者群



主なステーション

【CVS】



【小売/飲食】



【GMS】

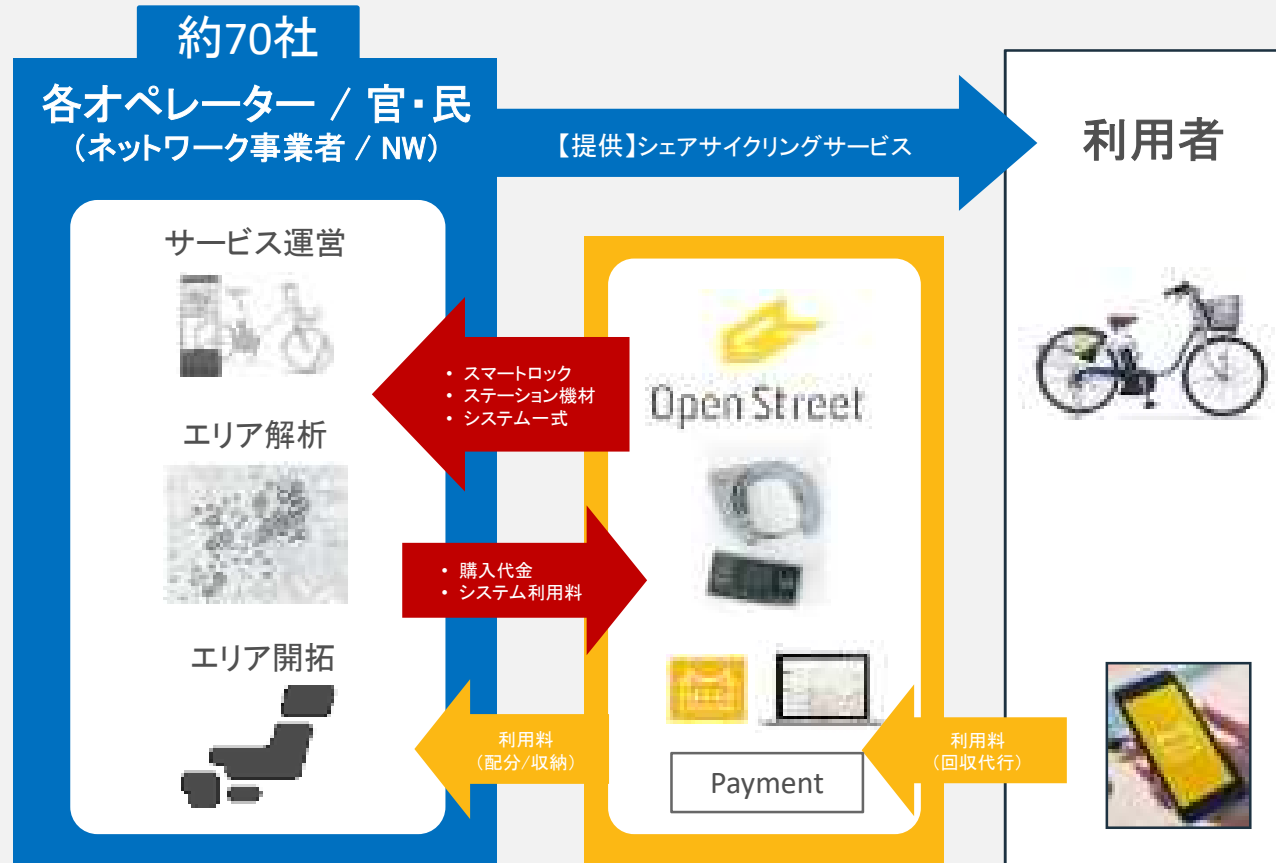


【その他】

- 駅/バス停
- マンション/アパート
- パーキング
- ホテル/旅館
- 学校
- 公共施設
- 銀行
- 神社仏閣
- 観光エリア

Service Model

サービスの提供モデル



違法駐輪対策

ジオフェンス管理／サイクルポート駐輪台数制限により自転車放置抑制

ジオフェンス管理



ビーコンとGPSにより位置情報を取得、
サイクルポートへの返却を検知
サイクルポート以外の駐輪は課金を継続

サイクルポート駐輪台数制限



サイクルポートに駐輪可能台数を設定、
駐輪状況はリアルタイムで管理
満車の場合は返却不可

シェアサイクル運営上の課題と解決策

シェアサイクル運営上の主な課題

再配置及びバッテリー交換で運営コストの4割

再配置



偏って返却された自転車を
他のステーションに再配備

バッテリー交換



EVのバッテリーの交換

再配置対策

エリア全体の偏在分析による最適化



エリア最適化施策

ポート配置
集中エリアの新規開拓
ラックの増設

再配置

回収・配置ポートの
時間別最適値の算出

AIによる
再配置運用の最適化

行動変容

AIにより対象ポートにクーポン
配布→行動変容促進



バッテリー交換対策

チャージャー（充電）ステーションによる自動化



例) 川越市シェアサイクル

実証実験結果における課題解決の一つとして駅を中心としたステーションのチャージャー化を進め利便性・採算性の向上を図る

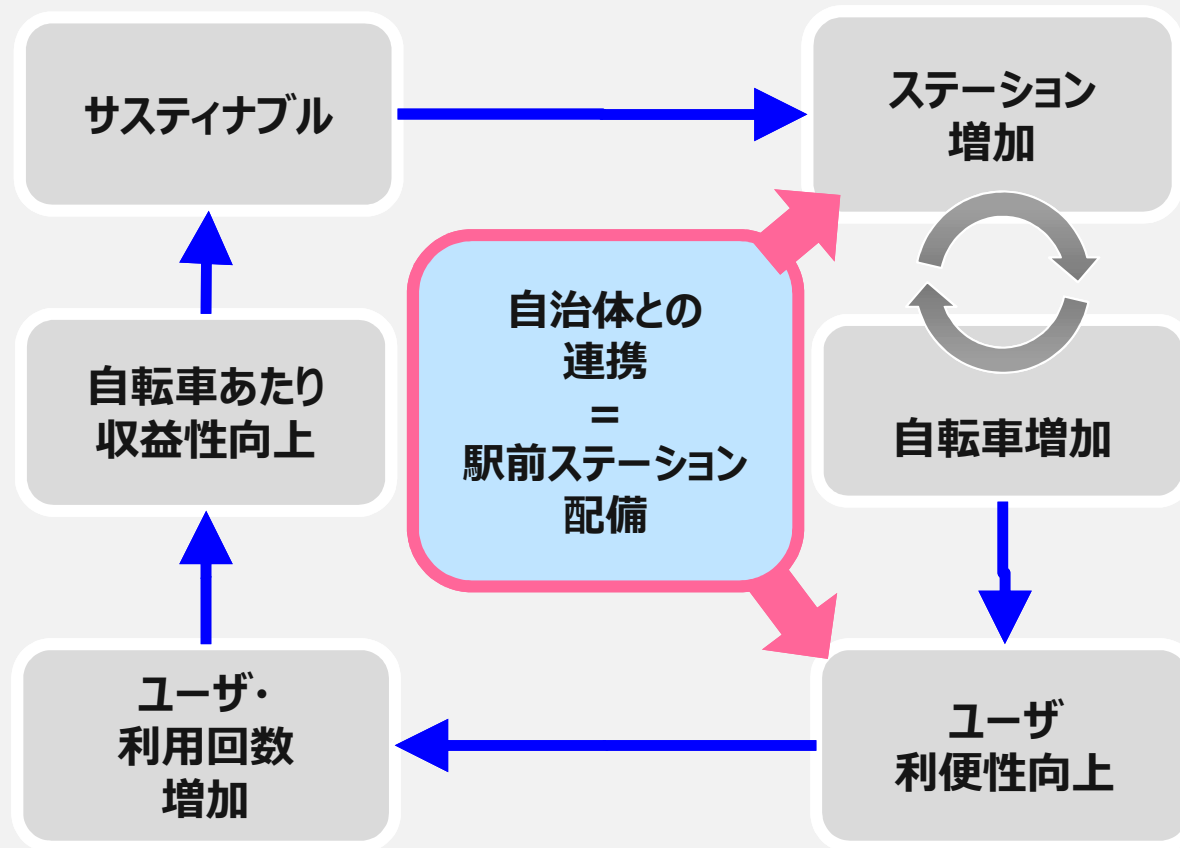
さらなる発展のための対策

視認性の高い駅前でのステーションの確保



**利用者の約7割がポート視認でシェアサイクルを認識
視認性の高い場所にシェアサイクルポートを整備する事で利用者を増加する事が可能**

シェアサイクル事業の成長構造_官民連携



【重要な打ち手】

自治体様との連携による
駅前ステーションの配備

利便性が向上し・活性化するステーション構成

駅前ステーションの拡充

周辺ステーション密度の向上

効果

- ① 最多の利用目的「通勤・通学」需要
- ② 視認性の高さにより、認知度向上

- ① 駅への利用者の母集団形成
- ② 用途の多様化を促進

課題

	例	候補地	解決策
駅前	交通結節点（駅前ロータリー） 駐輪場	道路 ビルの公開空地	道路占有許可の推進 公開空地の許可 （東京都以外）
周辺	公園 公民館/図書館 大型ショッピングモール/銀行（民間）	公園（都営/区営/県営） 大型施設の公開空地 大型施設の駐輪場	都市公園法の付帯設備 駐輪場の附置義務対象
密度	駅前ステーションから 1～3 kmの用地を重点的	民間施設 道路 公共施設	都市公園法の付帯設備 駐輪場の附置義務対象



Open Street

オープンストリート

見慣れた街の、知らない世界へ